

陸奥湾のマダラ漁獲状況について

陸奥湾のマダラ漁獲量は、2016年漁期（2016年10月～2017年9月）に約1,400トンと25年ぶりに1,000トンを超えました（図1）。

今回、2016年漁期における年齢別漁獲尾数を耳石の年齢査定結果を基にまとめた結果をお知らせします。

陸奥湾における2016年漁期のマダラ漁獲物は、6歳魚（2011年生まれ）、5歳魚（2012年生まれ）の順に多く、4歳魚（2013年生まれ）、3歳魚（2014年生まれ）も比較的多く漁獲されていました（図2）。

次に、この冬（2017年漁期）のマダラ漁はどうか推定しました。

2011年生まれは豊度が高い年級群であると考えられますが、この冬は7歳魚となるため、これまでのように大量に来遊することは期待できないと考えられます。

2012年級～2014年級は共に稚魚豊度（北海道大学高津教授データ）が低く、この冬からの漁獲が落ち込むことが懸念されていましたが、2016年漁期の漁獲状況から、この冬は2012年級～2014年級が6歳魚、5歳魚、4歳魚として来遊することが推定されました。

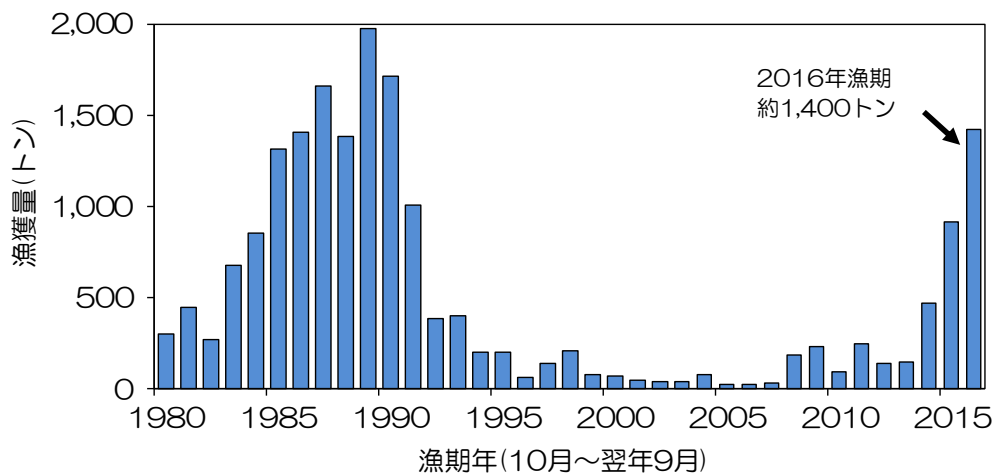


図1 陸奥湾のマダラ漁期年別漁獲量

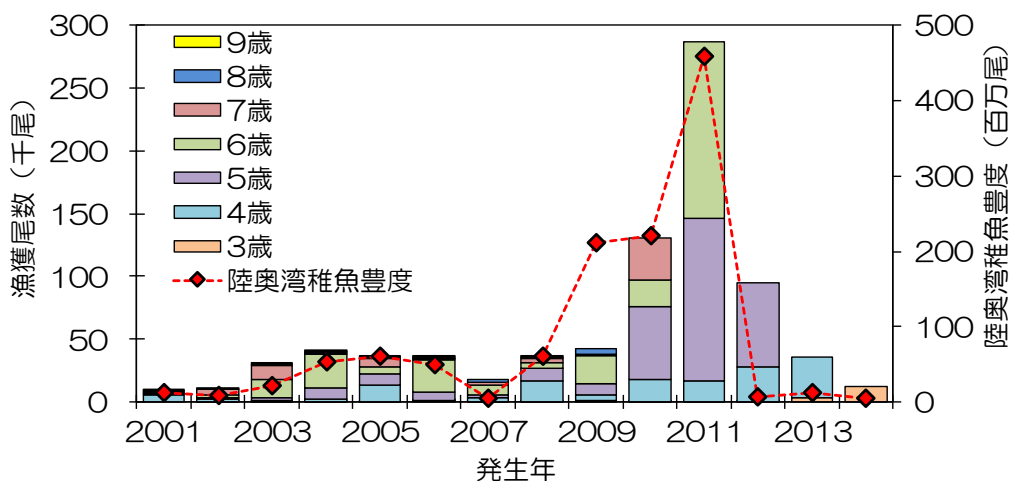


図2 陸奥湾のマダラ発生年別漁獲尾数
(陸奥湾稚魚豊度は北海道大学高津教授データ)